

茎葉収量が高く、稲発酵粗飼料に向く水稻新品種

リーフスター

New Rice Cultivar “Leaf Star” for WCS Usage

リーフスターは、高い可消化養分総量(TDN)収量が特徴です。特に、収穫物における、葉や茎の割合が多く、未消化物の発生が少ないのが特徴です。

これまでの飼料イネ品種を牛に給与すると、
粗の消化が悪いことが問題となっています。
そこで、茎葉部分の割合が多く、TDN収
量の高い飼料イネ品種が望まれています。

TDN収量が多収です

黄熟期のTDN収量が「はまさり」より
約1割高く、既存の飼料イネ品種では最
も多収です。

移植栽培と直播栽培の両方で「クサホナ
ミ」より高い全重収量を示します。



未消化物の排泄が少ない のが特長

未消化物排泄量(乾物中%)

リーフスター	クサホナミ
2.4	5.2

(ホルスタイン去勢牛へのWCS給与による)

「リーフスター」は茎葉の割合が高いため、
未消化物の排泄が「クサホナミ」の半分以下
です。

耐倒伏性に優れる

熟期は温暖地では“極晩生”です。
稈長は“極長”で、穂長は“やや長”で
す。

この品種は東京農工大学および近畿中国四国農
業研究センターと共同で開発したものです。



「リーフスター」は長稈ですが、移植栽培で
の耐倒伏性に優れます。

作物研究所 低コスト稲育種研究チーム

問い合わせ先:企画管理室 tel:029-838-8260

E-mail: www-nics@naro.affrc.go.jp http://nics.naro.affrc.go.jp/

2005 - 3